

1) 環境基本計画の 基本的事項について

▶ 背景

地球規模での環境影響

- 大量生産・大量消費・大量廃棄の生活様式による廃棄物・リサイクル問題、ダイオキシン類などの化学物質の影響。
- 石油エネルギー消費量の増大による地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊。



1) 環境基本計画の 基本的事項について

▶ 背景

南丹市における問題

- 農業や林業の担い手の不足による農地や林地、里山といった二次的自然環境の荒廃。これらの環境に依存する生き物たちの生活環境への影響。
- 山林のマツ枯れ、ナラ枯れ。シカやイノシシなどによる食害。
- 一部の地域における開発による、自然環境の減少。



山林のマツ枯れ

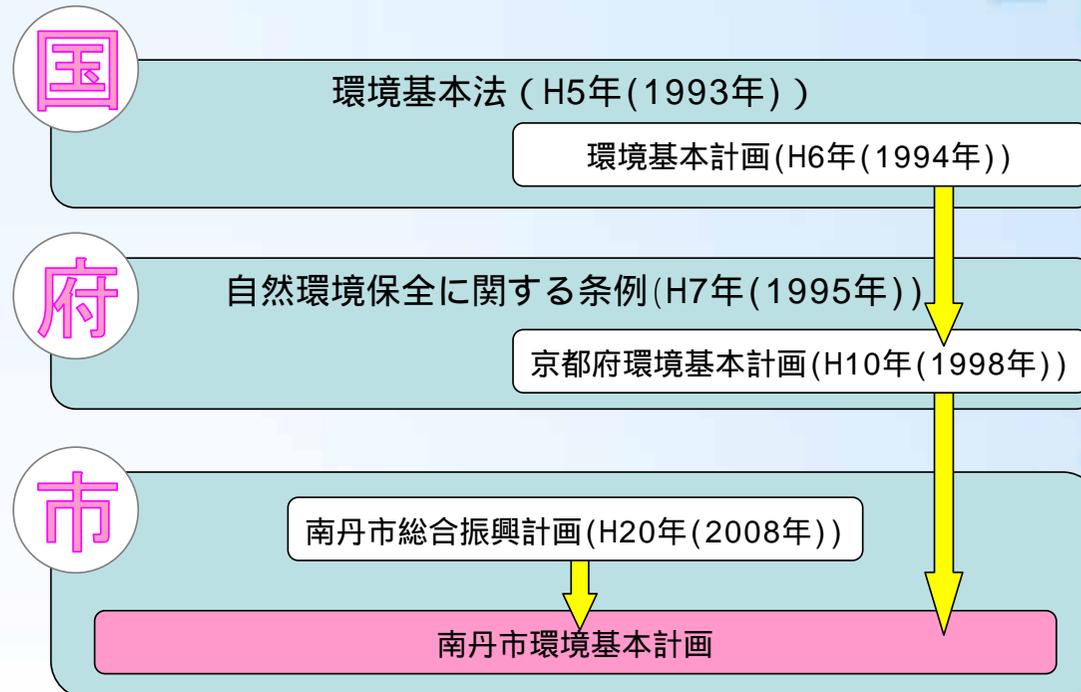
1) 環境基本計画の 基本的事項について

▶ 計画を策定する目的

- 市、市民、事業者の協力体制や
それを守るルールを明らかにする。
- 南丹市が進める環境保全の
方向を示す。

1) 環境基本計画の 基本的事項について

▶ 計画の性格 ~ 計画の位置づけ ~



1) 環境基本計画の 基本的事項について

▶ 計画の性格 ~ 計画の期間 ~



環境基本計画では、
計画の期間を10年間とします。
5年を目処に計画内容の見直しを行います。

1) 環境基本計画の 基本的事項について

▶ 環境のとらえ方 ~ 環境の範囲 ~

人づくり

- ・知識 ・良識
- ・環境教育
- ・環境活動 など



生活環境

- ・大気汚染 ・水質汚濁
- ・騒音、振動 ・悪臭
- ・土壌汚染
- ・緑化 など



地域環境資源

- ・山林、里山 ・動植物
- ・歴史、文化資源
- ・伝統、慣習
- ・自然景観 など



循環型社会

- ・ごみ ・廃棄物処理
- ・不法投棄 ・リサイクル
- ・エネルギー ・水循環 など



地球環境

- ・地球温暖化
- ・オゾン層破壊
- ・酸性雨 など



1) 環境基本計画の 基本的事項について

▶ 環境のとらえ方 ~ 役割 ~

市 民

- ・日常生活における環境にやさしい行動の実践。
- ・地域の環境資源の保全を目的とした取組への参加。
- ・環境学習等イベントへの参加。 など



事 業 者

- ・日常的な事業活動が生活環境へ与える影響の軽減。
- ・地域の清掃活動など地域環境保全の取組への参加。
- ・廃棄物発生量の低減、リサイクルの推進による循環型社会形成の取組への協力。
- ・省エネルギーなどによる地球環境保全の推進。 など



市 (行政)

- ・環境保全の視点を重視した事業の実施。
- ・市民、事業者への情報発信、環境学習による意識啓発。
- ・市職員の業務における環境に優しい行動の実践。 など



2) 策定スケジュールについて

▶ 21年度(2009年度)

作業項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘要
1. 環境基礎調査					← 既存文献・資料調査 ヒアリング等 →								既存文献・統計資料等による把握
2. 意識調査					← 準備 →		← 調査 →		← 結果整理 →				市民・中学生アンケート調査
3. ヒアリング調査							← 準備 →		← 調査 →		← 結果整理 →		地区・事業者・関係各課ヒアリング調査
1) 地区ヒアリング							← →						
2) 事業者等ヒアリング							← →						
3) 庁内関係各課ヒアリング										← →			
4. 環境の課題の整理、骨子の検討										← →			
5. 会議等・その他					← →								
1) 環境審議会							策定概要説明 基礎調査内容の検討				調査結果の検討 計画骨子の検討		
2) 庁内策定委員会							策定概要説明 アンケート内容検討				調査結果の検討 計画骨子の検討		
3) 広報・普及活動等							策定スタート、計画の概要広報				経過広報		広報紙等を活用

3) 基礎調査について

▶ 文献等調査【項目】

1) 人づくり	(1) 環境意識の啓発	市民, 事業者	4) 循環型社会	(1) 廃棄物	ごみ発生量	
		庁内			ごみ減量化リサイクル	
		学校教育		不法投棄		
	(2) 環境関連団体	(2) 資源循環				
	(3) 環境関連イベント等	(3) エネルギー		消費電力		
(4) 環境保全活動		自動車台数				
2) 生活環境	(1) 大気				新エネルギー	
	(2) 騒音・振動				省エネルギー	
	(3) 悪臭			(4) 水循環	河川	
	(4) 水質(河川、工場排水、地下水)				湧水	
	(5) 有害化学物質				地下水	
	(6) 地盤沈下				上水道	
	(7) 公害苦情処理状況				下水道	
	(8) 公害防止協定				農業用水	
	(9) 緑地				ため池	
3) 地域環境資源	(1) 自然環境		6) 地球環境	(1) 地球温暖化	南丹市における排出量	
	(2) 動植物	貴重な動物				実行計画
		重要な動物生息地			(2) 酸性雨	
		現存植生			(3) オゾン層破壊	法律に基づく規制
		すぐれた植生				府等の取組
		巨樹・巨木林				
	(3) 地形・地質					
	(4) 自然公園					
	(5) 景観					
	(6) 歴史・文化	変遷				
文化財						

3) 基礎調査について

▶ ヒアリング調査【概要】

1. 地域ヒアリング

1) 対象の考え方

旧町ごと4地区

2) 参加者

自治会長など

3) ヒアリング方法

ワークショップ形式
(地区の守りたい環境など)

4) 所要時間

2時間程度

5) ヒアリング実施時期

11月中旬～1月(1日1地区)



3) 基礎調査について

▶ ヒアリング調査【概要】

1. 事業者等ヒアリング

1) 対象の考え方

市内事業者

大規模事業者、環境への取組に積極的な事業者、
バイオマスタウン構想関連

環境関連団体、 を合わせて10～20者程度

2) ヒアリング方法および内容

代表者への聞き取り方式(30～60分程度)

主な環境への配慮行動、活動内容、計画策定後における
協働の可能性などについてヒアリングを行う。

3) ヒアリング実施時期

11月～1月

3) 基礎調査について

▶ ヒアリング調査【概要】

1. 庁内ヒアリング

1) 対象の考え方

環境基本計画推進に関連する各課

2) ヒアリング方法および内容

代表者への聞き取り方式(30 ~ 60分程度)

担当課における環境関連施策の現状・課題、
次年度の取組など

3) ヒアリング実施時期

2月中

3) 基礎調査について

▶ アンケート調査【概要】

1) 調査実施期間

平成21年10月1日(木)～15日(木)

2) 調査対象

市民 : 無作為に抽出した18歳以上 2,000人

中学生 : 市内全中学校の2年生 188人

3) 調査方法

市民 : 郵送によるアンケート用紙の配布・回収

中学校 : 教師によるアンケート用紙の手配り・手回収

4) 回収率

市民 : 42%(834人)

中学校 : 100%(188人)